

措置入院患者の転帰の把握等に関する調査 ご協力をお願い

平素より大変お世話になっております。

このたび、厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究（研究代表者：藤井千代）」分担研究「措置入院者の退院後における地域包括支援のあり方に関する研究（研究分担者：椎名明大）」の一環として、標記調査をさせていただくことと致しました。

この調査は、過去に措置入院した患者の転帰について各指定病院等がどの程度把握しているか、また措置入院及びその後のフォローアップ体制についての現状に関する抽出調査を行うことにより、今後の措置入院制度のあり方を考察するとともに、将来制度改正による成果を検証するための基礎資料とすることを目的とするものです。

本調査計画は、千葉大学大学院医学研究院における倫理審査を受審し、その実施を承認されたものです。

調査へのご協力は任意です。ご協力いただける場合、別添「措置入院患者の転帰の把握等に関する調査」に記載された要項にしたがって、調査票へのご記入をお願いいたします。

調査票の返送をもって、貴施設が本調査への協力に同意いただいたものとみなします。

本調査では患者個人情報を一切取得しません。自由記載欄を使用していただく際には、患者の個人を特定する内容が含まれていないか、ご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

研究代表者

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 社会復帰部長 藤井千代

研究分担者

千葉大学社会精神保健教育研究センター 治療・社会復帰支援研究部門 特任准教授 椎名明大

記載内容等に関するお問い合わせ先：